あなたのまちのコミュニティ活動情報誌

コミュニティしずおか

2023
4月
No.170

Topics トピックス

クローズアップ …… P2～3
生涯学習講座から生まれたおもちゃドクター（御殿場市）
地域訪問記 …… P6
みんなで楽しみながら汗をかく（磐田市）

コミック
のりづき・りえ

協力の輪で開催～代官屋敷竹あかり展～

代官屋敷竹あかり実行委員会（菊川市）

▼2月23日～25日、菊川市の国指定重要文化財「代官屋敷黒田邸」で「竹あかり展」が開催され、約400本の竹灯篭の柔らかい灯りが敷地内を照らした。放置竹林問題に取り組む団体「たねあかり」に所属する竹灯籠製作者の塚本さんと、菊川に人を呼びたい地域おこし協力隊の大山さんが出会い、昨年生まれたイベント。今年は平川地区コミュニティ協議会をはじめ、志茂組自治会、観光協会と連携協力の輪が広がりイベントを作り上げた。3日間で約600人が訪れ、幻想的な雰囲気に浸っていた。

◇実行委員：池本雅之さん（問合せ・0537-36-0201）　【情報提供・塩澤恵美】

クローズアップ

創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。

複雑な機構ほど、エンジニア魂が燃え上がるおもちゃドクターの皆さん

生涯学習講座から生まれたおもちゃドクター

御殿場市

御殿場おもちゃ病院

御殿場市でおもちゃの修理活動を行っている団体を訪ねて富士岡地区に来ました。お天気も良く富士山の雪化粧が正面に見え、時折遠くに演習場の砲弾の音が聞こえる静かな住宅地にある生涯学習センター「くすのき」。代表の猪島さん、会員の山田さん、富士岡支所の戸塚さんに取材しました。

男性しか申し込まない講座

富士岡地区の生涯学習講座の企画を担当していた戸塚さん。どの講座も男性が少ないことから男性しか申し込まない講座を考えます。機械いじりが好きな人向けの講座は男性参加率がアップするのでは？と令和３年11月おもちゃドクター養成講座を開講。技術者が多く住む土地柄、自動車関連会社で設計や開発に携わったOBや現役の方々、元自衛官の方等、10人の男性が集まりました。

講座修了後、猪島さんが「このまま終わりたくない」とおもちゃ病院を提案。皆の賛同を得て令和4年4月「御殿場おもちゃ病院」が発足しました。「猪島さんの提案にホッとした」と笑う戸塚さんは応援係として活動に参加。現在おもちゃドクター13人と受付ボランティアの中学生3人の計16人で、毎月第4日曜日「くすのき」で開業しています。

動く喜び　直す楽しみ

その場で直らない物は家に持ち帰り修理。それでも動かないと次の週も「くすのき」を訪れ、会員同士で知恵を絞ります。猪島さんも山田さんもその時間がとても楽しいそうで、皆さんが目を輝かせているのが想像できました。

病院にやってくるのは子どもばかりではありません。大人も思い入れの詰まった物を持って来ます。山田さんが修理した中に、大人が持ち込んだ動かないオルゴールがありました。複雑な機械を得意とする山田さんでもオルゴールの知識はありません。そこで伊東市にあるオルゴール博物館を訪ねオルゴールの構造や知識を学び修理しました。オルゴールが音を取り戻し奏でた時、持ち主の女性は涙したそうです。持ち主の止まっていた時も一緒に動き出しました。この活動が修理に訪れた人たちに果たす役割の大きさを感じました。

目下の悩みは自主財源の確保

活動費は、御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金「はじめの一歩」の5万円で賄っています。部品の交換等には実費をいただきますが、接着剤やハンダ、必要な工具は会員の自腹。2年目を迎える令和5年度は、30万円上限の市民提案型にチャレンジ。補助金の採択が決まったら、おもちゃドクター養成講座を今度は団体で主催し、会員を御殿場市全域に広げることを目指しています。活動の継続性を考えると、自主財源は確保したいところ。全国にあるおもちゃ病院の運営の情報を収集しながら考えていくそうです。

今後の活動は…

「物の原理原則がよくわかるおもちゃの修復を通して、子どもたちにものづくり体験のきっかけを提供したい。電子工作、プログラミングまで広げたい」と猪島さん。「子どもの興味を引くためには「壊すだけ」というのも、とっつきやすくて面白いかも」と山田さん。設計や技術開発に携わってきたお二人らしい活動を考えています。

子どもに助言しながら作業を見守るドクターたち

基本は入院治療（預かり修理）退院は次回開催日

取材は学びの場

今回で最後となる取材。4年間の取材で必ず思うのは、活動する方々の「地域の今、そして未来を見つめる目」です。おもちゃドクターの皆さんも修理後の笑顔の先にある子どもの可能性の引き出しや地域の中で輝く場づくりを担っているのではないでしょうか。私も皆さん同様に、今の自分の活動がどう未来に繋がっていくのか考えながら、活動している仲間や子どもたちといつも笑顔が絶えないよう努力していきたい。取材でお会いした皆様ありがとうございました。

左から、戸塚さん、猪島さん、山田さん

フェイスブック

◇代表：猪島智宏さん（問合せ・toyhospital.gotemba@gmail.com）
【情報提供・勝又長生】

レポート　市川頼子編集委員

まちからむらから

伊東市　活動する!りんがふらんか城ケ崎文化資料館

りんがふらんか
城ケ崎文化資料館

▼45年前に開館した私設の城ケ崎文化資料館が2021年5月「りんがふらんか城ケ崎文化資料館」へとリニューアルOPENした。カフェやギャラリーが併設され、月1マルシェ等を開催している。
▼城ヶ崎海岸からほど近い3600坪の林の中に建つ資料館では、初代平澤館長から二代に渡り収集した文化財、民俗資料、アンティーク玩具等が常設展示され、入場無料で鑑賞できる。昨年の文化の日には、伊豆周辺の9会場で開催した伊豆ブックツーリズム古本市の1会場として移住者を巻き込んだイベントを行った。また、SDGS教育と観光を結びつけてセミナー等を開催する「ITOまなびやStation」の活動拠点になっている。
▼民俗資料の常設展示の他、団体や個人へ会場貸し出し、他団体と共催で展示品の公開修復や再生利用、古本市など多彩な企画を実施し観光客や移住者、地元住民の交流の場になっている。
◇館長：平澤　哲さん（問合せ・080-4125-6850（支配人安田さん）

楽しいお店が並ぶ月1マルシェ

【情報提供・佐藤みつ子】

富士市　三世代交流大集会～凧よ舞い揚がれ～

富士南地区
まちづくり協議会

コロナ前の写真　今年は3/19に開催した

◇会長：齋藤清隆さん　（問合せ・090-7952-4263）

▼富士南地区まちづくり協議会の「三世代交流大集会」は、子どもから高齢者までの三世代が富士川緑地公園に集い、凧揚げを中心に区民の絆を深める催しである。
▼最大の特徴は、11ある各区や中学校が年明けから制作する3m×2mの大凧。凧の揚がり具合とデザインの審査会があり、力作の凧が会場に並ぶ。また、凧になじみのない子どもたちも参加しやすいように、事前に凧作り教室を開催。当日は、地区の大人が子どもに凧の揚げ方を教える姿も見られる。大凧のほか、個人の小凧や連凧が富士山を背に青空に競い合うように揚がる様は見事そのもの。
▼「中止が続いたことで役員に経験者が少なくなり、説明や準備も思い出しながらで大変でした」と会長。42回目を迎える今年は、開催日を1月から3月に変更し受験の終わった中学3年生も参加しやすくした。広大な場所がある地区ならではの交流行事を今後も継続していく。

【情報提供・齋藤立己】

掛川市　そこつ集団の為失敗はつきもの　笑いと夢を!

そこつ屋玉手箱

▼掛川市内で、手品や歌、踊りを一緒に楽しみ、親睦と交流を行い地域の活性化に取り組む団体「そこつ屋玉手箱」は、シニアの為の地域デビュー支援講座「出会い塾」（現掛川塾）を卒業した人からなる団体。2010年に発足し、現在9人（男性4人、女性5人）平均年齢73歳が、掛川市内の子どもと高齢者を対象に笑いと夢を提供している。
▼四代目となる村田会長を中心に活動が盛り上がりを見せてきた矢先、コロナで足踏み状況。しかし、逆境にめげず月1回の定例会にて、それぞれの芸に磨きをかけている。
▼「そこつ集団の為失敗はつきもの」と演目は顔ぶれを見てその場で決めているので、毎回何が飛び出すかはお楽しみ！見る方も披露する方も開けてビックリ玉手箱である。
会員たちは芸を披露し一緒に楽しみ、最後に笑顔でお別れできればと頑張っている。
◇代表：村田髙良さん（問合せ・0537-26-0620）

ハーモニカのメロディに合わせ合唱

【情報提供・安藤ミエ】

袋井市　100年前にあった友好の史実を生かす活動

袋井ベトナム友好協会

▼袋井出身の医師、浅羽佐喜太郎とベトナム独立運動の偉人ファン・ボイ・チヤウが100年以上前に築いた友好の絆と感動の物語を広く世間に知ってもらい、この精神を基に袋井とベトナムの交流拡大に貢献することを目的に活動している。
▼2003年から「浅羽ベトナム会」が中心になって日越両国で多彩な交流活動を行ってきた。2018年には「紀念碑建立100周年」記念行事が袋井市で盛大に行われたのを契機に「袋井ベトナム友好協会」と改称、紀念碑が持つ友好の意義をさらに多くの人々に知ってもらう。紀念碑への来訪者の対応、ベトナム人を中心としたサッカー大会、映画会の開催のほか、ホームステイなど地道な活動を行っている。
▼コロナ禍の現在は主に静岡県に在住するベトナム人との交流やzoomを活用し、日本語を学ぶ現地の学生たちとの日本語会話クラスの開催などの交流活動を継続している。
◇代表：浅羽一芳さん（問合せ・太田芳春事務局長090-2577－4480）

HP
常林寺にある紀念碑を訪れたベトナムの皆さん

【情報提供・峰野　勇】

森町　モミジを植えてもっと安らぐ場に！

岩田神社総代会

子どもたちとモミジを植樹

▼森町牛飼地区（世帯数93）にある岩田神社は、1,641坪の広い敷地を有する神社。境内には公民館、屋台小屋、消防詰め所、遊具もある。子どもたちの遊び場であり、シニアクラブのグラウンドゴルフ場であり、不燃ごみの回収の場であり、みんなが集まる場所である。
▼岩田神社総代会では、昨年11月27日にモミジの植樹を企画した。町内会や子ども会に声を掛けたところ、大人15人、子ども20人と多くの住民の皆さんが参加。大人が穴を掘り、子どもが木を植え世代を越えてふれあい活動ができた。
▼実施するために徹底した計画を準備。コロナ禍での開催は、話し合いの場が少ない点に苦労した。役員は数年で交代するため継続が難しいという面もあるが、今後も町内会の色々な行事で使用する神社境内を整備し、安らぐ楽しい集いの場づくりを地域住民の協力を得ながら続けていく。
◇代表：村松　繁さん（問合せ・0538-48-6779）

【情報提供・山田勝恵】

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス　http//www.sizcom.jp ）

No.	市　町	活　動　名	主　催　者	趣旨・目的	情報通信員
1	下田市	伝統行事を守ることは、地域の存続を守ること	山里会	山間部の厳しい自然環境の中、楽しく活気のある生活を目指して活動。	山田豊秋
2	沼津市	大平中学生全体で取り組む活動	大平SDG-S	中学生主体によるSDG-Sを行政と地域コミュニティの協力を得て、住みよい環境を維持する。	室伏哲男
3	函南町	老後を元気で楽しもう!	ダイアモンドシニアクラブ	趣味などを通じて仲間が集い活動して語り合うことで様々な情報を得ることができて様々な問題点も提起できる。	虎尾恵美
4	裾野市	富士山すその昼下がりの歌会	富士山すその昼下がりの歌会	地域の音楽文化を盛り上げ、地域活性化につなげようという思いで、音楽愛好家たちが発表できる場を提供。	志田忠弘
5	静岡市	どうせなら　参加しよう　楽しもう　自治会活動～3年ぶりに開催　盛り上がったふれあいの集い～	瀬名川一丁目自治会	自治会として３つの約束を掲げ、誰もが安心して暮らせる、住みやすいまちを目指す。	瀧　昌光

地域訪問記

長く続いている団体を紹介します。

食育講座
ソバの脱穀体験

県道44号線沿い
にある自慢のお花畑

ライ麦ストロー作り
中学生もお手伝い

みんなで楽しみながら汗をかく～農地保全と交流促進～

岩田故郷の会（磐田市）

磐田駅から北へ車で約20分走ったところにある磐田市岩田地区は、約600世帯が暮らす農村地域。市を代表する「いわた白ネギ」の一大産地ですが、近年は農業の担い手不足に伴い荒廃農地が増え問題になっていました。そんな時、市から「ふじのくに美農里プロジェクト」に参加しないかと声がかかり2011年「岩田故郷の会」が発足。農地の維持管理と耕作放棄地を利用した地域交流促進を進めている会長の匂坂さん、副会長の田中さん、事務局の青島さんにお話を聞きました。

農地や水、環境を地域ぐるみで守る活動「ふじのくに美農里プロジェクト」

設立当時、自治会長を務めていた青島さん。市からの話を受け、定年後は地域に貢献したいと思っていたことから早速自治会長仲間の4人と茶飲み友だち等に声を掛け動き出しました。現在は会員10人で、5か所の畑と2か所の草刈り場を管理。活動内容は大きく分けて2つあり、1つは水路の泥上げやパイプラインの管理等の維持管理。もう一つは“多面的な”取り組みで、この会の活動のポイントであると青島さんの目が輝きます。

子どもたちにいろんな体験を

会では、農作業の楽しさを共有するため、岩田小学校や岩田交流センターと連携により、耕作放棄地を利用して子どもたちに農業体験や収穫物を利用した食育講座を行い積極的な交流を図っています。「農業体験を通じて土に触れ自然を感じ少しでも視野を広げもらいたい。将来農業に携わるきっかけになってくれたらという思いが根底にある」と青島さんが話してくれました。また、県立農林環境専門職大学の実習を受け入れ、大学生からの提案で小学生との交流もしています。

順風な活動の陰に光る汗

現在ジャングル農園と呼ばれる畑は、電線に届く大きな木が20本近く生え、まさにジャングルの様な状態で、畑として使えるようになるまで10か月掛かったといいます。もちろん地主から許可を得た場所を管理しているわけですが、トラブルが起こるのが一番怖いそう。昨今は遠隔地主も多く、自分の農地がどこにあるのかわからない人もいて、農地整備に時間がかかることも…。

みんなで楽しみながら

「活動は出会いの場、知らないことを知れるのは楽しい」と匂坂さん。「地域おこしに参画できていることが活動の励みになっています」と田中さん。皆さんとてもいい笑顔で、活動が充実し楽しんでいることが伝わってきます。

取材後、会自慢の花畑に案内してもらいました。小、中学生、地域住民、Facebookで繋がった人が集まり植栽したチューリップの球根、その数4000個。見ごろを迎える4月2日には、花畑コンサートを開催します。この活動が実となり花となり岩田地区を盛り上げていくことを期待します。

左から
青島さん
匂坂さん
田中さん

フェイスブック

◇会長：匂坂正實さん（問合せ・0538-38-0181（事務局 青島保一さん））

【情報提供・安部詠司】

レポート：事務局　青島亜沙依

コミュニティ・フォーラム2023を開催しました

未来に向けての持続可能なコミュニティとは

2023年2月26日(日)　12:30～15:40　藤枝市生涯学習センター

ご来賓の藤枝市大畑直已副市長

人口減少や少子高齢化、地球規模での環境問題に加えて新しい生活様式の広がりなど、コミュニティを取り巻く状況が大きく変化する中、今年のフォーラムでは、未来に向けての持続可能なコミュニティとは、どうやってつくっていけばよいのかを考えてみました。当日は、新型コロナが減少傾向の中でしたが、安全を考慮して昨年と同様に半日で開催し、181人の会場参加がありました。

パネルディスカッション

高町第3日曜市場の栗﨑弘義さん、市之瀬盛り上げ隊の森脇陽亮さん、岩手県立大学の役重眞喜子さんの3人のパネリストと渡村マイさんの進行により、持続可能なコミュニティとは、気軽な対話の場づくりから仲間づくりへ、仲間と楽しくやっていく中に課題解決の糸口があるなどの目からウロコの提言をいただきました。

令和4年度　コミュニティ活動賞　表彰

優秀賞4団体、優良賞5団体が表彰されました。

基調講演

ＮＰＯ法人「森は海の恋人」の畠山重篤理事長をお招きして、落葉樹の腐葉土からできるフルボ酸を例えに自然循環の偉大さと、人と自然の共生の必要性についてユーモアを交えて語っていただきました。

スタッフとして活躍したコミねっとの皆さん

当日の様子をご覧になれます

常務のつ・ぶ・や・き

４月は、進学や就職、転勤などで環境が大きく変わり、期待と不安が交錯する季節。私は、就職して部署や仕事が変わるたびに、かつて上司から教わった千利休の「守破離」の心得を思い出し、型破りな性格ながらも、まずは基本を守ることから始めて、変化に順応してきたつもりである。

ところが、地域コミュニティの場では、このように身構える必要は全くないらしい。地域デビューに戸惑っている皆さん、まずは飛び込んでみましょう。なにせ、仲間を作って楽しむことが地域コミュニティの基本であり、継続の極意なのだから。from コミュニティ・フォーラム

地域活動に関心のある方へ！

募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

活動資金の一部を助成します！
★コミュニティ活動集団育成事業

趣　旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として2年間指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域の先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。

指定の期間　毎年度4月から次年度3月までの2年間とします。
活動経費の助成　募集集団数15集団。活動経費として1集団当り、初年度7万円、翌年度3万円を助成します。
活動集団の指定　申込みに対してその内容を審査し、指定します。
募集期間　4月中旬～6月中旬

指定活動集団に決まると専門委員の訪問によるアドバイスが受けられられます。

余裕をもってお申し込みください!

編集・発行
地域情報をお寄せ下さい!

静岡県コミュニティづくり推進協議会
〒420-0856　静岡市葵区駿府町1−70
総合社会福祉会館3階
【TEL】054-251-3585
【FAX】054-250-8681
【URL】http://www.sizcom.jp
【E-mail】sizucom0829@po.across.or.jp